

決	会 長	担当 副会長	専務理事	部長・ 委員長	副部長・ 副委員長	委 員	事 務 局
裁							

## 出張報告書

提出日：令和 年 月 日

報告者名：

会議名または用件	令和4年度 第4回ケアマネジメント支援会議
出張日時	令和4年9月20日(火) 13:30~15:00
出張先(場所)	くすのきセンター 3階会議室1
会議の出席者*1	
概 要	ケース事例検討
内 容	<p>【ケース内容】80代男性 要介護2 生まれも育ちも現住所、妻と二人暮らし、子は長男1人県外 7月に自室で尻もちをつき胸腰椎圧迫骨折で入院、コルセット作成 8月退院 退院後から昼夜逆転傾向で妻の負担が大きくなり、デイサービス等の介護サービスを利用開始。 近所との付き合いは頻繁で交流もあり、社交的。 情報収集も近所からの噂が多く、惑わされていることも。 本人は何もすることがなくソワソワしている。 妻は認知症になると何もわからなくなると思っている。 今後の本人の状態、妻の負担等を鑑み、支援を検討する。</p> <p>⇒ 専門職からは生活歴や職歴、仕事歴を知ることにより好みの方向性や役割など分析しやすい 退院直後に比べて症状や生活も落ち着いてきているため、妻も何もできないわけではないと認識が変化してきている。 本人や妻、長男へ病識、薬識や服薬の目的等を理解してもらえる機会が必要なのでは？ 今後を知ることにより支援すべき方向がはっきりする。 認知症になっても支援があり、本人もしっかりしているため安定した生活ができる。 一緒に取り組む姿勢を見せていくべき。</p> <p>などの意見が出た。</p>

\*1 会議出席者の名簿を添付してください。